

Nepal. Janakpur Zone. Ramechhap Distr.: Serdingma-Dubikharka, alt. 3400-3720 m In *Abies* forest (H. Ohba, T. Kikuchi, M. Wakabayashi, M. Suzuki, N. Kurosaki, K.R. Rajbhandari & S.K. Wu 7 July 1985, no. 8570258, TI-holotype; KTM-isotype); Neju-Choarma, alt. ca 3500 m (Ohba et al. 8571076, TI, KTM). [Dolakha Distr.] Rolwaling, alt. 8500 ft. Forest. N facing. (D. McCosh 138, BM, TI)

\* \* \* \*

ヒマラヤの中央部を占めるネパールの植物相はその概要が掌握された段階にある。調査の進行によって一部の種群では変異の実体も少しずつ判りはじめている。しかし、アブラナ科は基礎的な研究さえなされていない状況にある。1985年に東ネパールの西縁に位置するタマコシ川とリク川に挟まれたジャナクプール地方ラメチャップ区の亜高山帯に発達するモミ林下で、変わったタネツケバナを採集した。ネパールの放牧跡などに多い、*Cardamine macrophyllum* に似ているが全体に繊細で葉は羽片の数も少なく、先は鋭尖形で、しかも側羽片は頂羽片より小さい。中国から記載された *C. urbaniana* に近縁であるが、欧文欄に記したような差異があったので新種として記載した。なお、この種にあたる標本はすでにロルワリンでも採られていて、原寛先生はそれを *C. macrophyllum* と同定していた。

□町田市薬師池公園管理事務所(編): 薬師池公園 万葉花苑 51 pp. 1988. 町田市身体障害者福祉協会。定価の表示はない。表紙にオキナグサの写真があり、第一頁に毛筆書きの美しい「ねつこぐさ」の歌がある。この植物を例にとれば(21頁), ねつこぐさ 根都古具佐 開花時期四月頃, おきなぐさ, きんぼうげ科 芝付の御宇良崎なる根都子草…と, その万葉表記がともにルビ付きであり, 口語訳が続き1頁を終る。奥付によって, 本文のすべては沢瀉久孝博士の「万葉集注釈」(中央公論社)によったことがわかる。評者はこの苑を短時間訪問したが, まだ生植物の収集は終わっていない。これからというところである。地方文化の華の咲く現代で, このような non-profitable の計画が方々でなされつつあるのは慶賀にたえない。(津山 尚)

□徳島県博物館: 植物標本目録 顕花植物編 シダ植物編 596 pp 1987. 非売品。同博物館所蔵の約14,000点の分類リスト。こういうリストを作る苦労が大変なことはわかるが, 利用の立場からいうと, 地名の索引がぜひほしい。(金井弘夫)